

公開シンポジウム

「地域とともに描く 生涯学習の近未来像」

大学生涯学習の過去・現在・未来

9/24 **火** 南日本新聞みなみホール
14:30～17:10 参加無料

主催：全国国立大学生涯学習系センター研究協議会 鹿児島大学

後援：鹿児島県教育委員会 南日本新聞社ほか放送局各社（予定）

幅広い年代の方のご参加お待ちしております。

基調講演者 東京大学大学院教育学研究科教授 牧野 篤

「大学と地域はこれからどこへ向かうのか～「社会」をつくりだす生涯学習を求めて」

鹿児島大学生涯学習憲章の策定の報告

鹿児島大学は、日本の大学では初めての取組みとして「鹿児島大学生涯学習憲章」を策定しました。

パネルディスカッション

コーディネーター

岩元 泉（鹿児島大学生涯学習教育研究センター長）

パネリスト

木村 純（全国国立大学生涯学習系センター研究協議会会長）

前田芳實（鹿児島大学長）

豊留悦男（指宿市長）

喜禎浩之（朝日酒造（株）代表取締役）

門田晶子（淵上印刷（株）代表取締役社長）

下野義弘（鹿児島県立始良病院総看護師長）

コメンテーター

牧野 篤（東京大学大学院教育学研究科教授）

文部科学省（予定）

「地域とともに描く、生涯学習の近未来像」

主催：全国国立大学生涯学習系センター研究協議会 鹿児島大学
後援：鹿児島県教育委員会 南日本新聞社ほか放送局各社(予定)

■日時 平成25年9月24日(火) ■場所 南日本新聞みなみホール ■参加無料

シンポジウムの趣旨

鹿児島大学は、日本の大学では初めての取組みとして「鹿児島大学生涯学習憲章」を策定しました。この憲章は、地域とともに発展する大学づくりの柱として生涯学習を位置づけ、次のように生涯学習の理念を定めました。「地域のもつ知は大学及び大学人に新たな知的発見をもたらす宝庫であり、知的拠点としての鹿児島大学がめざす生涯学習とは、地域に生きる人びとと大学人がともに学び教え合う関係から知の循環を促し相互に成長していくことです。」。シンポジウムでは、鹿児島大学がめざす生涯学習の実現に向けて、具体的に何をどのように取り組んでいけばよいのかについて、現状の課題と今後の見通しについて、地域とともに考えていきます。

スケジュール

- 14:00 ~ 14:30 受付
- 14:30 ~ 14:35 開会挨拶
全国国立大学生涯学習系センター研究協議会会長 木村 純
- 14:35 ~ 14:40 開催校挨拶 鹿児島大学長 前田 芳實
- 14:40 ~ 14:45 来賓挨拶 文部科学省
- 14:45 ~ 15:15 基調講演 東京大学教授 牧野 篤
～大学と地域はこれからどこへ向かうのか
「社会」をつくりだす生涯学習を求めて
- 15:15 ~ 15:25 鹿児島大学生涯学習憲章の策定の報告
鹿児島大学 酒井 佑輔
- 15:25 ~ 15:40 休憩(15分)
- 15:40 ~ 17:05 パネルディスカッション
- 17:05 ~ 17:10 閉会挨拶 鹿児島大学研究担当理事 住吉 文夫

パネリスト/報告者/総合司会者



木村 純
北海道大学教授
全国国立大学生涯学習系センター研究協議会会長 北海道出身。住民参画による地域の生涯学習計画のプロセスに関する実践研究に長年取り組んでいます。



前田芳實
鹿児島大学長
鹿児島大学出身 鹿児島大学農学部、理事を経て本年4月より学長。教職員、学生、卒業生並びに地域社会が誇りとする大学を目指します。



豊留悦男
指宿市長
北京日本人学校教諭や小学校校長を歴任し、指宿市長に就任。行政、教育部門に携わった経験を生かし、市政発展のため挑戦しています。



門田晶子
測上印刷(株) 代表取締役社長
在米21年、アートディレクターとしてTV局勤務後帰国、祖父の築いた家業を永続するため日々奮闘中!



喜禎浩之
朝日酒造(株) 代表取締役
黒糖原料のサトウキビの無農薬栽培を始めて13年、喜界島全体をオーガニックの島にすることに取り組んでいます。



下野義弘
鹿児島県立始良病院総看護師長
鹿児島大学保健学研究科修士課程修了の第1期生。現場の経験に大学の理論が広がることを実感中。



酒井佑輔
鹿児島大学生涯学習教育研究センター講師
ブラジル地域研究と社会教育学を軸に研究を展開。本シンポジウムでは、鹿児島大学生涯学習憲章の策定の報告を行います。



小栗有子
鹿児島大学生涯学習教育研究センター准教授
センター創設時に着任。自然や風土と人の育ちの関係を研究する傍ら、学習を組織する仕事に従事。本シンポジウムの総合司会を務めます。

基調講演者



牧野 篤
東京大学大学院教育学研究科教授
1960年愛知県生まれ。名古屋大学大学院教育学研究科博士課程修了。博士(教育学)。1992年より名古屋大学教育学部に勤務。2007年より東京大学大学院教育学研究科教授併任を経て翌年より同大教授。

専門は、社会教育学・生涯学習論。研究関心は、人が生活を営み、成長していくことに現れるさまざまな事象を通して、社会のあり方や人が幸せに暮らすために何ができるのかを考えることにある。現在は、東アジア地域における少子高齢化の進展と生涯学習に関する研究や、人が「学ぶ」ことのダイナミズム、まちづくりと生涯学習のあり方などについて探究している。また、多世代交流型コミュニティの形成などさまざまな社会実験・プロジェクトにかかわっている。
文部科学省生涯学習ネットワークフォーラム企画実施委員、同超高齢社会における生涯学習のあり方に関する検討会委員、三鷹市社会教育委員など。最近の著書では、『シニア世代の学びと社会—大学がしかける知の循環—』勁草書房、2009年、『人が生きる社会と生涯学習—弱くある私たちが結びつくこと—』大学教育出版、2012年などがある。

コメンテーター

牧野 篤(東京大学大学院教育学研究科教授) 文部科学省(予定)

コーディネーター



岩元 泉
鹿児島大学農学部教授
鹿児島大学生涯学習教育研究センター長
鹿児島歴64年、少しでも農業の現場に役立つ研究をしたいと願う。生涯学習教育研究センター長は昨年より兼務。

全国国立大学生涯学習系センター研究協議会とは

全国の国立大学法人における生涯学習の振興や地域社会との連携の推進、研究に係る生涯学習教育研究センター等の機関を会員として構成しています。協議会では、センター等の円滑な管理運営を目的に、研究フォーラム、文部科学省との協議など活動を展開しています。今回のシンポジウムは協議会と鹿児島大学が主催し、以下の会員大学の教職員が参加します。
北海道大学、北海道教育大学、弘前大学、福島大学、茨城大学、宇都宮大学、富山大学、金沢大学、岐阜大学、静岡大学、滋賀大学、大阪教育大学、奈良女子大学、和歌山大学、鳥取大学、島根大学、徳島大学、香川大学、高知大学、長崎大学、熊本大学、大分大学、宮崎大学、琉球大学、鹿児島大学

会場へのアクセス



みなみホールは南日本新聞社4階にございます。

車でお越しの際は、南日本新聞会館東隣の立体駐車場「みなみパーク」をご利用ください。

【駐車料金】
昼間 8:00~20:00 100円/60分
夜間 20:00~8:00 100円/90分